離床CATCH設定フロー

RoomT2 転倒転落研究会
Supported by PARAMOUNT BED

START！
認知症・ナースコールを押さない等の理解力の低下が認められることが前提条件です

麻痺、失調、筋力の低下等により、歩行状態が不安定である

YES → ベッド座位、端座位からの転落のリスク、または立ちあがり時の転倒のリスクがある

YES → **起きあがり**
（使用例）
0秒：起きあがった瞬間に鳴らしたい場合
⇒コール頻発に注意！
1秒：デフォルト設定
3秒：瞬間的な起きあがりを検知したくない場合

NO → **端座位**

NO → 離床先（トイレ等）で転倒・トラブルのリスクがある

YES → **離床**

NO → 部屋の外を徘徊する可能性がある

YES → **見守り**
（使用例）
1分 ：自分の部屋から出たことを察知
5分 ：徘徊して遠くへ行くことを察知
10分：通常5分でトイレに行ける人
30分：通常15分でトイレに行ける人
60分：自室以外で寝てしまっている、病棟外に出て行ってしまう等を察知

NO → **OFF**

■鳴りすぎる場合
体重設定をひとつ重く設定すると、鳴りにくくなります
（検知できないリスクに注意！）
■鳴りにくい場合
体重設定をひとつ軽く設定すると、鳴りやすくなります